

## 世羅町

## 脱温暖化のまちづくりに向けて発進

## 町民の声をもとに7つの重点テーマ

## ～実践母体に脱温暖化プロジェクトせら～



町内の行事で「わが家のエコ白書」のアンケートを行うスタッフ（昔と今の暮らし見直しプロジェクト）

## せらのエコドライブ八か条

1. 私は、アイ ドリンクストップ宣言
2. こまめに点検、あなたもカードクター
3. 週に1度は、ノーカーデー
4. 急がず、あせらず、ゆっくりスタート
5. 乗り合わせ・申し合わせて、もう幸せ
6. 健康づくり、2kmまでなら歩コロジ
7. チャリこいで運動神経養おう
8. 夏は外気・冬は外着／車内（しゃあない）な一

世羅町は、町民や事業者などが協働して脱温暖化のまちづくりに取り組むことを目指し、平成二十一年度から5カ年を計画期間とした「脱温暖化せらのまちづくりプラン」（地球温暖化対策地域推進計画）を策定。

計画の中には、住民が主体となつて取り組む七つの「地域発重点プロジェクト」を設置している。町公衛協や各団体が構成された脱温暖化プロジェクトせら（世羅町地球温暖化対策地域協議会）が実践母体となつて動き出した各プロジェクトの今年度の進捗状況を紹介します。

■エコちゃんいっばいプロジェクト  
小学校で温暖化対策に関する学習会を実施。今後は、自治センターなどでも開催し、環境に配慮した町民「エコちゃん」を育成していく。

また、マイ箸やマイバッグなどを推奨するお店などを登録する「エコ加盟店制度」といったしくみづくりに向けたアンケートを実施し、結果を踏まえて来年度以降の運用につなげる。

■昔と今の暮らし見直しプロジェクト  
また、マイ箸やマイバッグなどを登録するお店などを登録する「エコ加盟店制度」といったしくみづくりに向けたアンケートを実施し、結果を踏まえて来年度以降の運用につなげる。

町内各地区のサロンへ出向き、昔の暮らしの工夫について聞き取り調査を実施した。また、環境家計簿を基調とした「わが家のエコ白書」試作品をもとに、町内の行事でアンケートを行い、意見を参考にしながら仕上げていく予定。

■環境にやさしい運動プロジェクト  
週に一度は「ノーカーデー」申し合わせて乗り合わせるなどの「せらのエコドライブ八か条」（左表参照）を作成。十一月、



世羅東小学校で行った環境学習会（エコちゃんいっばいプロジェクト）



モデル地区の選定を行うため、里山で現地調査（せらの山が呼んでいるプロジェクト）

など野のものを食したり、間伐をするなどの体験イベントを十一月二十二日に町内で開催。今後は、公開ワークショップを開催し、資源活用策や人材発掘方法について町民から意見を吸い上げながら進めていく。

■太陽のめぐみプロジェクト  
夏には役場庁舎でさまざまな植物を活用したグリーンカーテンの設置実験を行った。今後は実験の反省点を踏まえ、町民へ設置を呼びかける「せらの夏の七草」の選定についてまとめる。

また、一般家庭での太陽光発電システム導入促進に向け、

町内で設置された世帯にアンケートを行う予定。

■農から温暖化NOを進めるプロジェクト  
傷などを理由に出荷されない梨が廃棄されているという現実に着目し、これをスムーズ（ジュース）にしてせら高原まつりにて販売することと町民へPRを行った。また、併せて地場産物消費に関するアンケートを行い、結果を参考に地場産物の消費運動を行っていく予定。

（地域活動支援センター）

へ活かす。

■3Rで環境にやさしい生活実践プロジェクト  
リサイクルセンターや不燃物処理場への視察を行った。また、生ごみ処理に関する研究や3R実践事例に関する情報収集を行い、そこで得た情報を集約し、展示パネルや副読本を作成。町内のお祭りやイベントで3Rに関するPRを行っていく予定。

## 地球温暖化防止活動推進員新規養成研修実施中

## 地域リーダーをめざし80人が受講

## 企画・実践を通じて活動の一步を踏み出す

実施され、前期研修で地球温暖化の現状と対策の必要性を把握した上で、各地域で実践する活動の企画づくりを行い、後期研修までにこれを実践することにある。後期研修では、その様子や成果を報告し、県知事から

まだまな母体から三十三組八十人が集まった。現在、受講者は前期研修を終え、企画実践期間に入っており、企画の一部を紹介する。緑のカーテンを普及させるアイデアを盛り込んだ「チャレンジ」おい

OXでエコライフ講習会、待ち時間の長い信号交差点をモデルゾーンとし、排気ガスの発生抑制をねらうアイドリングストップゾーン推進隊（門田）など脱温暖化のアイデアが詰まった企画三十三件が現在実践さ



地域で実践する活動を企画する受講者

十四人になる見込みである。決して容易ではないが、地球温暖化防止活動推進員の活動が、脱温暖化社会を拡大する糸口になることを期待したい。

（脱温暖化センターひろしま）

脱温暖化センターひろしま主催の地球温暖化防止活動推進員新規養成研修が、尾道、広島、三次の三会場で開催されている。

この研修の特徴は、一泊二日の前期研修、日帰りの後期研修の二回シリーズで

地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受ける。実施日も参加者の要望を踏まえ、平日、休日、二日間通いを設定し、状況に応じた参加が可能になり、公衆衛生推進委員や住民、企業の社員、行政職員などが

しい緑のカーテン」レシピ募集事業、地域に脱温暖化活動の理解を呼びかける学習会を展開する「盆から先のが家 省エネ学習会」、生ごみの減量と再利用をテーマにしたコンポストを切り口に考える「ゴミかえる日

れている。

この研修は、二〇〇五年から実施しており、現在、県内に二百四十人の推進員が委嘱を受けて活躍している。今年度の研修が終了すると、県内の推進員は二百八十人になる。



脱温暖化プロジェクトせら 会長 落合 脩

いよいよ重点プロジェクトの実践期間に入り、各プロジェクトははじめの一步を踏み出す。

出しました。ワークショップを通じて意見を出し合い、世羅の特色を活かした温暖化対策を集約し完成させた七つの重点プロジェクトには、町民の思いが詰まっています。

小さな一歩が、地域ぐるみの大きな輪になっていくよう、プロジェクトせらは脱温暖化のまちづくりに取り組んでいます。

## 住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金 広島県窓口に参加指定

地球温暖化問題が深刻化する中、石油代替エネルギーとして太陽光発電の飛躍的な普及が望まれる。そのなかで、住宅用太陽光発電の普及に向けて国として支援策を講じることとなり、経済産業省が補助制度をスタートさせた。この制度は、一定の要件を満たす住宅用太陽光発電システムを設置する者に対して、定額の補助を実施するもの。有限責任中間法人太陽光発電協会／太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）が運営し、全都道府県に窓口団体が指定されている。補助制度の概要の主な点は右表の通り。

※補助金交付には、条件がございます。詳しくはJ-PECのHP（URL: <http://www.j-pec.or.jp>）もしくは、当会へお問合せください。

問合せ先：〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1  
（財）広島県環境保健協会 TEL: 082 (293) 1505（ダイヤルイン）

## 制度の概要

- 募集期間：2009年4月1日～2010年1月29日
- 補助金額：太陽電池モジュールの公称最大出力 7万円/kW
- 対象者：自ら居住する住宅に対象システムを新たに設置する個人で、電灯契約をしている方
- 対象システム：J-PECの規定、最大出力が10kW未満システム価格が70万円（税抜）／kW以下を満たすこと
- 申請方法：都道府県別の受付窓口申請書類を提出